

社会福祉協議会は、地域における住民と社会福祉事業関係団体等により構成される。住民主体の理念に基づき地域の福祉課題に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域福祉の実現を目指す公共性と自主性を有する民間団体である。各町内会で集められた社協協力会費や赤い羽根等共同募金会や仙台市からの助成金が小地域福祉ネットワーク活動などの事業に充てられている。

向山地区社協だより

令和	3	年
3	月	25日

発行元：向山地区社会福祉協議会・向山地区共同募金会・向山地区民生委員児童委員協議会
責任者：〒982-0833 仙台市太白区八木山弥生町13-12 向山地区社会福祉協議会 会長 高橋利勝

小地域福祉ネットワーク活動特集 No.21

こんにちは！ サロン紹介その1

いきいきサロン萩ヶ丘

鎌 瀧

初回の方は準備の都合上3日前までに連絡必要

佐々木 毎回楽しみ、友達もたくさんできました。
岩 渕 25年以上続いています。参加者減少で寂しいです。

開催頻度	奇数月 第4金曜日 10:00~12:00
会場	向山コミュニティーセンター (住所:萩ヶ丘9-1)
参加対象	地域にお住まいの方どなたでも (現在の参加者は高齢者中心) ・ストレッチ・筋トレ・脳トレ・お食事会 ・介護予防・栄養についての講話 (在宅管理栄養士)・包括支援センター による消費者被害についての講話 ・軽体操・おしゃべり・歌・リズム体操 会費:100円 弁当有りの日200円

サロン あたご

鎌 瀧

初回の方は準備の都合上3日前までに連絡必要

浅 井 楽しいチラシを作っています。
伊 藤 いろんなことができて楽しいです。
土居原 元気と笑顔をもらえます。

開催頻度	毎月1回(日程は前の月に決める)
会場	10:00~12:00 向山コミュニティーセンター (住所:萩ヶ丘9-1)
参加対象	地域にお住まいの方どなたでも (現在の参加者は高齢者中心) ・折り紙(飾りBOX ひな人形)・歌 ・軽いストレッチ・おしゃべり・食事会 ・口腔ケア・口腔トレーニング・高齢者の 交通事故についての話し合い・白地の うちわに夏らしい折り紙で飾り付け ・ケーキの作成・音楽と映像を流してク スマスの雰囲気を楽しむ・軽い体操 ・初釜・茶話会(会費:普通100円) (弁当有りの日200円)





向山地区社協福 「コロナ禍におけるサロン」

講師：太白区社会福祉協

令和2年11月

※福祉委員の皆様へ「マスク

1ブロックコーディネーター 鎌 瀧

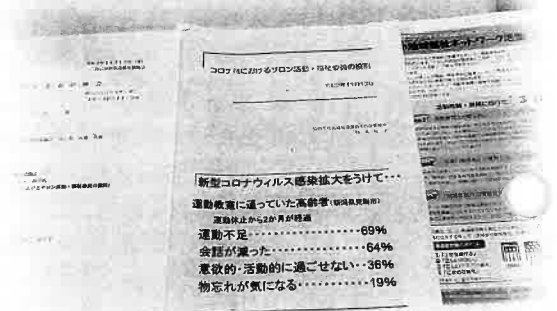
1ブロックの福祉委員会としての今年度の活動は、コロナ禍の中でどのように活動していくことが良いのか、感染予防を第一に考えながらの活動でした。

6月まではサロン活動も、見守り活動も自粛せざるを得ず安否確認も、地域で見かけた時や近所の方からの情報が頼りでした。7月に入ってコミセンの使用が可となったので、『家に籠ってばかりで体を動かす機会がない。誰とも話をせず笑うことも少なくなった。』などの声を聞くことが多くなったので、検温、マスク着用、消毒はもちろん、間隔をあけて座る、換気をする等、感染予防を徹底した上で、サロンの開催に踏み切りました。

11月に研修を受け、さらに一層感染予防に配慮すると共に今までも参加者名簿は作成していましたが、もし感染者があった時の為にも参加者の把握が大事と知り、名簿作成の重要性を再認識しました。

サロンの内容として、飛沫感染を防ぐ意味で飲食をやめ、軽いストレッチ、手指の運動、脳トレ、ぬり絵等、なるべく話をしないで出来る事を行いました。又、感染に対する不安や恐怖から、感染拡大地域からの来訪者への嫌悪、感染者やその近親者への差別につながらないように情報提供も必要だと感じている処です。

我慢するだけではなく、出来る事をやりましょう。大変な世の中ですが楽しい事を楽しんでやりましょう。という気持ちで、マスク、手洗い、消毒は日常の習慣とする事でサロンや地域活動を進めていけたらと考えています。



福祉委員研修会

「活動・福祉委員の役割」

義会 係長 竹本 裕子 氏

月13日(金)

「と消毒液」を配布しました



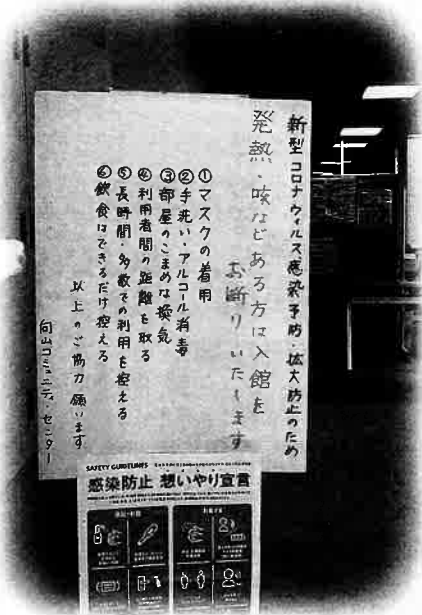
2ブロックコーディネーター 増子

月に1~2回、体操中心のサロンに携わっています。コロナ禍以前は地域の高齢者のお喋りや健在ぶりを確認する数少ないコミュニケーションの場でした。それが半年間の休止。

「みんなと一緒に体操できる、一人ではなかなかね、、、」という声をたくさん聞きました。「集う場がある」ということは孤立しがちな高齢者にとって必要なことでした。

「地域活動とこの感染症との相性は非常に悪い」という講師の言葉に納得しました。

感染症対策を取り再開したサロンですが、時間や内容、人数など確実に減りもどかしさが募ります。それでも参加して下さる方々の為「参加して良かった」と思える雰囲気や内容を工夫してお迎えしたいです。また、参加したくても参加できない方々へのフォローも必要と聞き「いつも繋がっているよ、見守っているよ」が伝わる活動でサポートしていきたいと思いました。



3ブロックコーディネーター 吾妻

令和2年11月13日に、感染症対策を徹底した上で開催された「向山地区社会福祉協議会の福祉委員研修会」に参加しました。

今回は、太白区社会福祉協議会係長の竹本裕子さんから、「コロナ禍におけるサロン活動、福祉委員の役割」というテーマで、サロン活動を実施していく上で参考となる貴重なお話をいただきました。

現在、サロン活動の開催がコロナ禍で難しいことから、高齢者の中には、運動不足や楽しみが少なくなり、意欲の低下や孤独感を抱くなどの、悪影響を受けている方が多いとのことでした。

私は竹本さんのお話を聞き、高齢者にとって様々なことを話し合えるサロン活動の大切さを改めて感じました。

サロンを楽しみにしている高齢者のためにも福祉委員と協力し、安全に配慮しながらサロンの継続に努めたいと思います。



向山地区 社会福祉協議会 小地域 ネットワーク コーディネーター会

令和3年2月19日
今年度の活動報告



第1 ブロック

研修会 9月19日・2月27日
サロンあたご・萩ヶ丘7月再開



第2 ブロック

研修会 7月28日
いきいきサロン向山 6月再開
サロンひまわり 7月再開
イーゼークラブ 8月再開



第3 ブロック

研修会 7月31日・3月2日
サロン長嶺 6月再開
サロンみどり 6月再開
いきいきかすみ 6月再開
サロン若葉 休まず継続

役員紹介



副会長 小林
(庶務)
スポーツ観戦・ゴルフ
読書



副会長 郡山
水石・春蘭・射撃(公式)



会長 高橋
登山



地域福祉活動推進委員
鈴木
トールペイント
人形づくり



会計 早坂
映画鑑賞



副会長 野又
鮎釣り



仙台市内の地区社会福祉協議会は、身近な圏域ごとに福祉課題の発見や解決に取り組むため、概ね小学校区の範囲で設立が進められてきました。任意の団体として、昭和43年ごろから地区社協の設立が進められ、現在では市内の104地区に広がっています。地域福祉活動の充実に向けて、地区社協と仙台市社協は、相互に欠かすことのできない強固な連携と協力関係にあります。